

日時 2015年

1月10日(土)

14:00~16:00 (13:30開場)



場所 グランフロント大阪北館タワーB

ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーB  
10階 Room B08 (大阪市北区大深町3-1)

JR大阪駅中央北口アトリウム広場より  
連絡デッキで直結(徒歩約7分)



### プログラム

1. 本勉強会の趣旨について  
武藤香織(東京大学医科学研究所・公共政策研究分野)
2. 新しいくすりや医療機器が開発されるまで  
氏原淳(北里大学・北里研究所病院・バイオメディカルリサーチセンター)
3. 経験談を集めることはなぜ大事なのか  
「臨床試験・治験の語り」データベースプロジェクトの紹介  
中田はる佳(東京大学大学院・新領域創成科学研究科)
4. 質疑応答

■主催:「臨床試験・治験の語り」データベース構築プロジェクト  
科学研究費助成事業 基盤研究(B)「臨床試験参加者の語りデータベース構築と被験者保護の質向上に関する研究」  
(主任研究者:東京大学医科学研究所・武藤香織)

■共催:国立病院機構大阪医療センター  
文部科学省「次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム」  
NPO 健康と病いの語り ディベックス・ジャパン  
NPO法人ささえあい医療人権センターCOML

■対象:一般の方

■参加費:無料(定員40名:定員になり次第締め切らせていただきます・当日参加も可)

■お申込み方法: 1)お名前 2)ご住所 3)緊急連絡先  
を明記の上、メールの件名に「臨床試験勉強会の件」  
とお書きいただき、katari.db@gmail.com又はFAXに必要事項をお書き  
の上お申し込み下さい。  
※車いすでご参加の方はその旨お知らせ下さい。

■お問い合わせ先:「臨床試験・治験の語り」データベースプロジェクト事務局  
(東京大学医科学研究所 公共政策研究分野・担当:吉田・中田)  
Email: katari.db@gmail.com  
FAX: 03-6409-2080



臨床試験・治験について語り合おう  
体験談の共有に向けて

入場  
無料  
事前申込制



# 「臨床試験・治験の語り」データベースプロジェクト勉強会

「臨床試験・治験について語り合おうー体験談の共有に向けて」

「臨床試験（りんしょうしけん）」とは、薬や医療機器を人に使ったときの安全性や効き目について調べる研究をいい、中でも、国から製造や販売を認めてもらうために行われるものを「治験（ちけん）」といいます。現在、わたしたちが享受している最新のくすりや医療機器、そして、検査や手術の方法などは、すべて、過去にたくさんの患者さんや健康な人がボランティアとして臨床試験・治験に協力してくださったおかげで生まれてきました。しかし、多くの人にとっては、「新聞やテレビで言葉は聞いたことがあるけれど、何のためにするのかよくわからない」「実験台にされてしまうのでは？」「そもそもなぜそんなことが必要なの？」など、わかるようでよくわからない、あまりなじみがないものではないでしょうか。

本勉強会では、新しいくすりなどを開発する上で欠かせない臨床試験・治験のしくみをはじめ、それらについて正しく理解してもらうための活動についてご紹介します。ご参加の皆さんとの意見交換を通じて、疑問点を解消し、臨床試験・治験の正しい理解の共有を目指します。また、臨床試験・治験に関するご経験を集め、データベースをつくる『「臨床試験・治験の語り」データベース構築プロジェクト』をご紹介します。このプロジェクトでは、患者さんの思いや意見を少しでも汲み取り、よりよい実施体制や、適切な情報提供のあり方などについて新しい提案をするべく活動しています。

本勉強会を通じて、少しでも多くの方に臨床試験・治験について正しく知っていただき、身近なものとしてとらえていただくきっかけになればと願っています。



## お申込み用紙

（ご記入の上 FAX またはメールにてご返送ください。）

FAX 送信先番号：03-6409-2080 / E-mail：katari.db@gmail.com

お名前

---

ご住所

---

緊急連絡先

---

車いす利用の有無（ 有 ・ 無 ）